

# 研究協力をお願い

研究課題名 クロウン病におけるバルーン小腸内視鏡検査の有用性の検討

## 1. 目的

クローン病は小腸をはじめ全消化管に病変を来す病気ですが、以前は特に小腸病変の把握が難しいことが問題でした。近年、バルーン小腸内視鏡検査が実用化され、比較的容易に小腸粘膜の観察が可能となって来ています。また、クローン病の狭窄病変も小腸に好発しますが、以前は外科的な手術加療が治療の第一選択でしたが、内視鏡的バルーン拡張術が有用な場合もあり、手術を回避もしくは先延ばしする可能性が示されています。今回、クローン病診療におけるバルーン小腸内視鏡の有用性を検討する目的で臨床データを解析いたします。

## 2. 概要と方法

クローン病の患者さんの中からバルーン小腸内視鏡検査を受けられた患者さんを抽出し、内視鏡所見（潰瘍の程度、狭窄の状態など）に加え、診療の一環として得られた採血データ（貧血の程度や炎症の程度など）や臨床症状（腹痛の有無や便回数など）を収集し、統計学的解析を行い、

- ① 粘膜病変の状態と採血や症状との関連性
- ② 小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術の予後因子解析（どのような狭窄が内視鏡的バルーン拡張術がより有効か）

以上の項目について検討を加えます。

## 3. 個人情報保護

この研究で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際には慎重に配慮し、患者さん個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

## 4. 同意および撤回について

この説明書をお読みになり担当医の説明を聞いて、この研究に参加することに同意される場合は、別紙の同意書に署名または記名・押印をして下さい。同意されなくとも、一切不利益は生じません。また、同意はいつでも撤回できます。

5. 費用および謝礼について

個人負担や謝礼は発生しません。

この研究について何か分からないことや心配なことがありましたら、いつでも担当医師にご相談下さい。

連絡先・問い合わせ先

滋賀医科大学 消化器内科

馬場 重樹、伴 宏充、安藤 朗、藤山 佳秀

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話：077-548-2217